

山岡光広・安井直明・小西喜代次議員が一般質問

山岡光広議員



◆核兵器禁止条約採択について、◆甲賀市手話言語条例制定について、◆老朽消防ホースについて、◆河川改修と浚渫促進について、子どもの医療費を中学校卒業まで拡大を

問 国連で核兵器禁止条約が採択された。その認識と平和教育の一層の拡充を。

市長 残念ながら核兵器保有国の理解が得られず締結国には入っていない。

教育長 唯一の被爆国として一日も早く地球上から核兵器がなくなることを強く願う。広島平和記念式典への派遣、甲南中学校での平和行進など今後も平和学習の充実に努めていきたい。

問 手話通訳が可能な職員は何人か。「手話言語条例」の制定を。

健康福祉部長 10名程度。

市長 手話は言語であることを市民一人一人が認識し、聴覚障害者とのコミュニケーション手段として手話ができるよう様々な施策を講じる必要がある。条例の制定は、成果等をふまえて検討する。

問 「老朽消防ホース」の更新状況は。

危機・安全統括監 平成27年の調査時点で30年以上前の消防ホースは、1845本。うちこの間753本、40%が更新された。引き続き更新されるよう呼び掛ける。

問 杉川と野洲川の合流地点まで、県が洪水浸水想定区域を指定したがその対応は。ゲリラ豪雨等に対応するため、河川改修、河床の浚渫を抜本的に推進すべき。

建設部長 抜本的な河川整備促進のため、国直轄管理の拡大を要望していく。

安井直明議員



◆国の悪政に対し市長の見解は、◆市民の願い、学校給食の無償化を新年度から、◆グリーンセンター滋賀の協定書に対する土山の振興計画を問う、◆2元代表制の元、議会への対応と望むことは

問 国の憲法改悪・9条に対して市民を守る立場から市長の所見を問う。

市長 戦争の無益さ、悲惨さ、残酷さが次世代に伝え、バトンを次世代に繋ぐことが大切。9条は大きな役割を果たしてきた。9条が今までのままでいいのか、責任ある議論を国会でされることを望む。

問 市民の切実な願い、学校給食無料化を新年度予算に反映せよ。

市長 費用対効果、事業間のバランス等総合的に勘案。無償化4億円の財源確保等検討する施策だ。

教育長 国の動向も注視し研究する。

問 クリーンセンター滋賀建設事業に関する協定書に記載の「土山町地域振興計画書」の現状と今後「金がないから」と言わないように約束ことは守れ。

総務部長 22事業のうち残り12が未達成。助成金では進捗率は51%。片山今宿線の町並み環境整備事業、北土山猪鼻線の改良事業、茶施設整備事業補助を実施中。今後地域の実情に沿って実施する。

問 二元代表制の元、今後の議会への対応と望むものは。

市長 双方がそれぞれの役割と責務を果たし、市民にとって最善の施策を建設的に生み出す場になることを望む。

小西喜代次議員



◆(仮称)西部学校給食センター建設予定地について、◆信楽運動公園の整備について、◆公共交通のさらなる改善、◆学校トイレ改修の見直しを求める、◆信楽アレフ施設への対策を

問 学校給食センターの総事業予算はいくらか。建設予定地は9000㎡、一億円以内で確保としていたが変更はないか。

教育部長 現時点での総事業費概算は24億3千万円。予定地は山林、現在測量中で、測量結果をもとに決定する。

問 信楽運動公園の野球場の草、松枯れ、切れたままの外灯、管理人不在の時間帯の解消への対応を。

教育部長 野球場の草、松枯れは対応した。外灯は5カ所を優先して改善した。管理人の配置は検討する。

問 コミバスの見直しで、雲井・長野間の運行は応えていない、再検討を。80歳以上の無料乗車券を75才まで拡充、信楽高原鉄道にも無料乗車券制度の導入を。

建設部長 コミバスと信楽高原鉄道との競合は避けたい。無料制度の拡充は収益改善後に対応。

問 学校トイレの洋式化ですべてを洗浄便座に。雲井小学校などのグラントイレの洋式化、改善を。

教育部長 全ての洗浄便座化には一億円追加が必要で困難。グラントイレの改善は検討する。

問 信楽のアレフ施設への対応を。

市民環境部長 団体解散の法整備を政府に要望中。地域の不安解消に努める。

市政チェック 市民の要求実現…議員の役割ますます大事に

山岡 安井さん、長い議員活動お疲れさまでした。

小西 土山町議を含めると27年の議員活動ですね。

安井 ありがとうございます。最後の一般質問には家族や親戚、支援の人達も傍聴に来ていただいた。

山岡 家族や支援の方々のおかげがあったから続けてこられたわけ。感謝ですね。

安井 本当にそうです。首長も議員も選挙で選ばれる。二元代表制ですから、議員は、市政のチェック役。そして市民の切実な要求を実現する、市政に生かす役割がある。だから「いいことはいい。悪いことは悪い」ときちんと言う力が必要です。

小西 そうそう。市民の利益を守る立場から。ここが大事ですね。

山岡 甲賀市が誕生して13年。うち12年間は中嶋市政。昨年の市長選で岩永市政が誕生して一年。市長が変わろうとも、市民目線では是非々を貫いているのは、日本共産党議員団だけです。

安井 公明は手のひらを返したように今は岩永市政に賛成。市民クラブも清風クラブも市長が変われば態度が変わる。清風クラブから退会する議員が多いのもそのためです。

小西 新しい議会は、定数が3減。そのなかで日本共産党が4議席をめざすことの意味は大きい。

安井 色々ありがとうございます。職員のみならず市民のみなさんにも感謝です。新議会での活躍に期待します。